

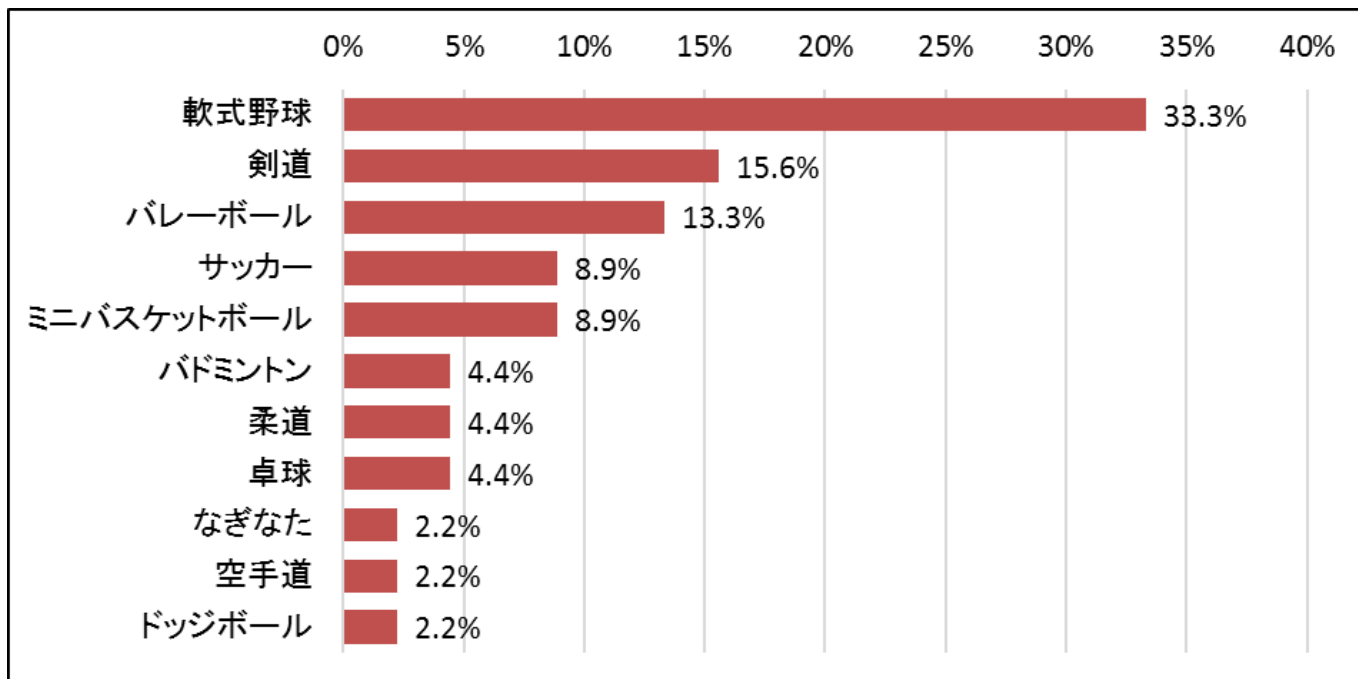
IV. スポーツ少年団【保護者代表者】の現状について

配布対象：出雲市内すべてのスポーツ少年団保護者代表 86人

配布時期：令和3年1月29日 回答期限：2月26日

回答団体：45人（回答率：52.3%）

1. 子どもが加入しているスポーツ少年団の種目について



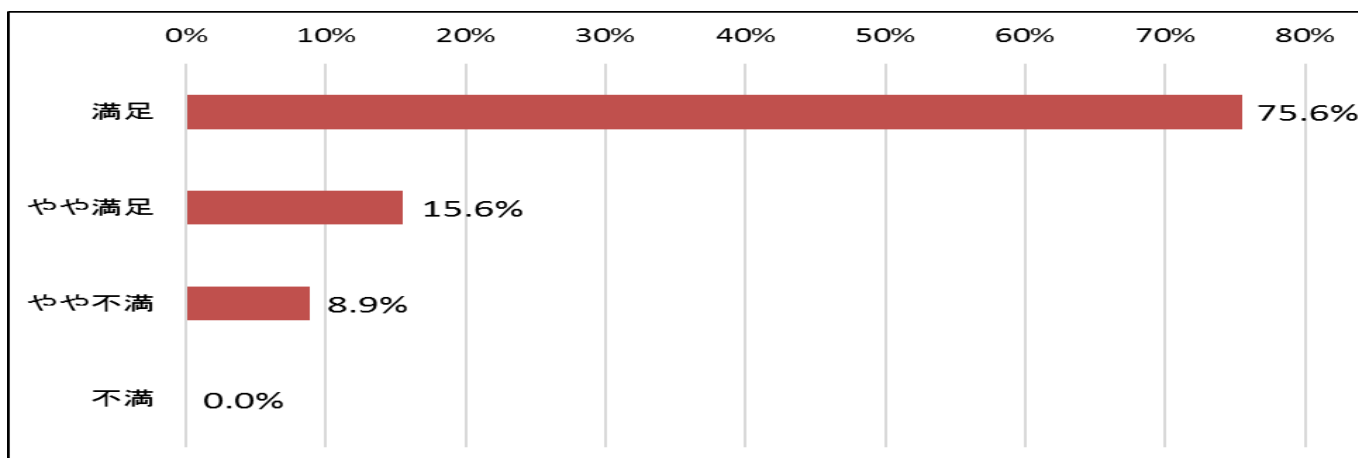
2. スポーツ少年団の活動について

(1) 1週間の活動日数： 平均2.4日

(2) 1日あたりの活動時間： 平均3.0時間

(3) 主な活動場所： 学校39 学校をのぞく公共施設7 個人の敷地・施設1

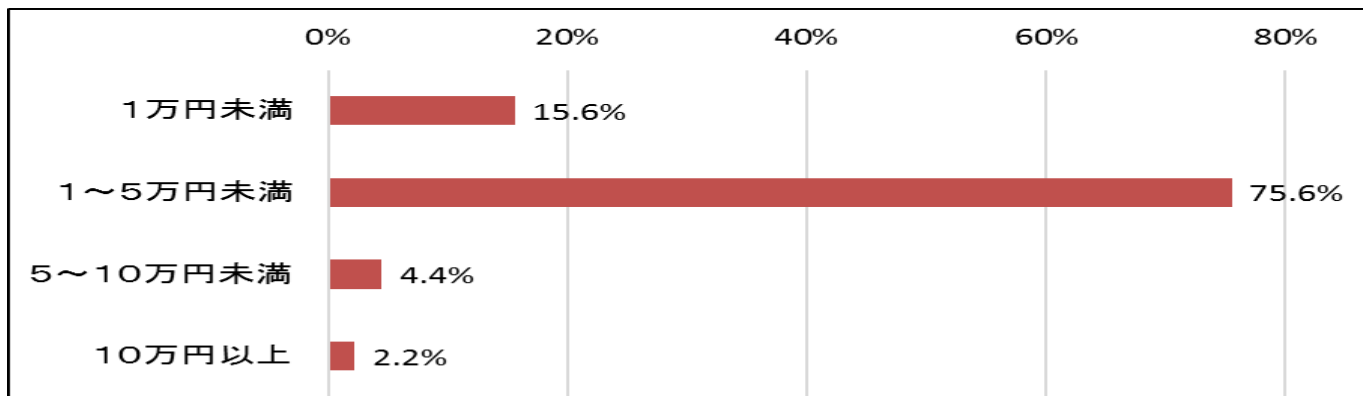
(4) 団の活動頻度や活動場所についての満足度



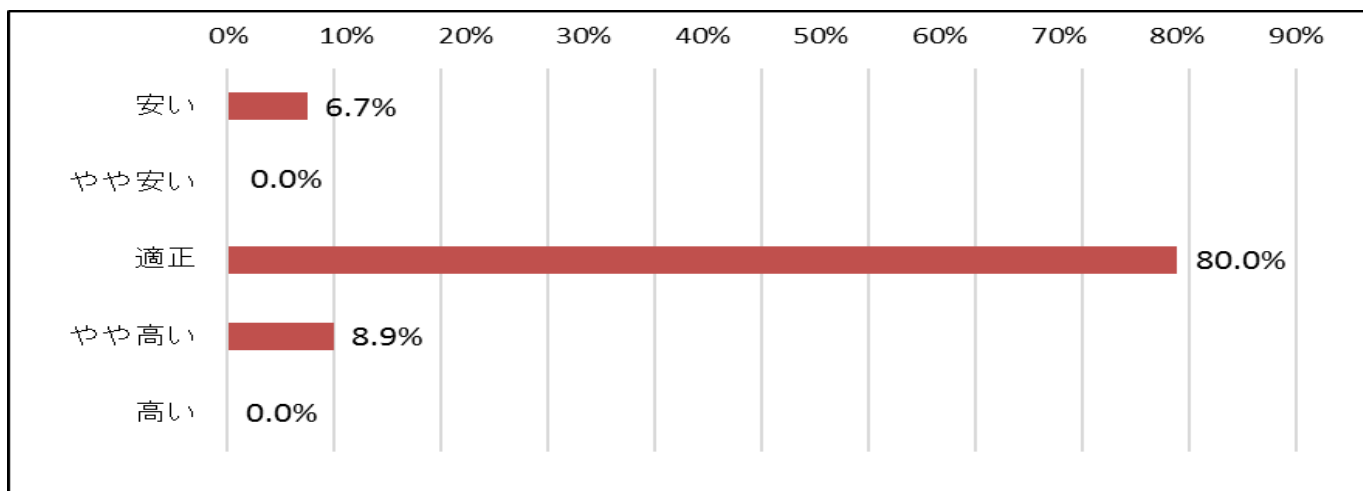
(5) 満足できない理由について

- ・平日にも1~2日程度追加して練習したい。
- ・指導環境（時間の制限やコロナによる対策のため、練習内容が昨年より変わった事）
- ・週に1回以外にも強化練習に何回でも参加できるシステムはとっても良いですが、場所が遠く、負担が大きく、参加しにくい。
- ・場所が狭い。

(6) 団員の一人あたりの活動費用（年間）

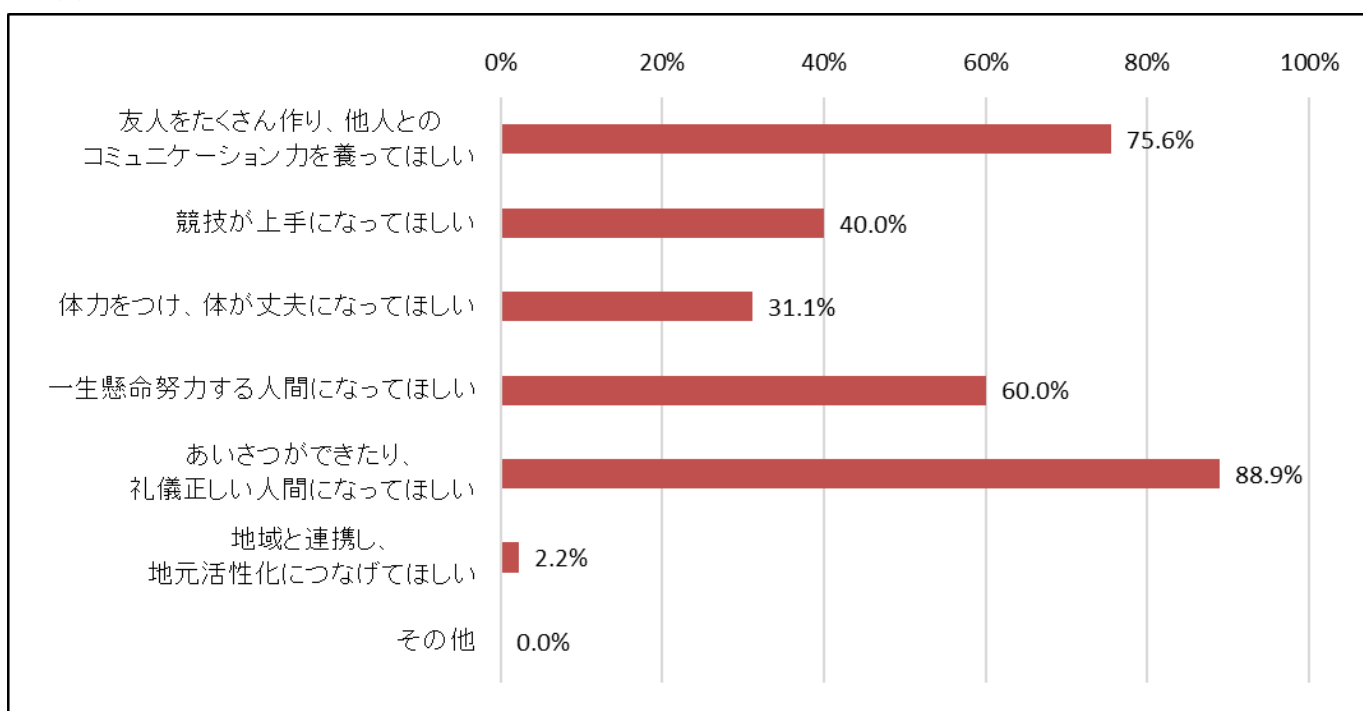


(7) 年間費用の負担感について



●スポーツ少年団の活動頻度や活動場所について約8割の保護者が満足しており、年間の活動費用については、1～5万円が一番多く、8割が適正であるとの回答でした。

(8) 活動や指導に期待すること



●あいさつができ礼儀正しい人間に育つことや、友人がたくさんできること、コミュニケーション能力の養成について期待する回答が多くありました。

(9) 活動全般について、良い点や困っている点について

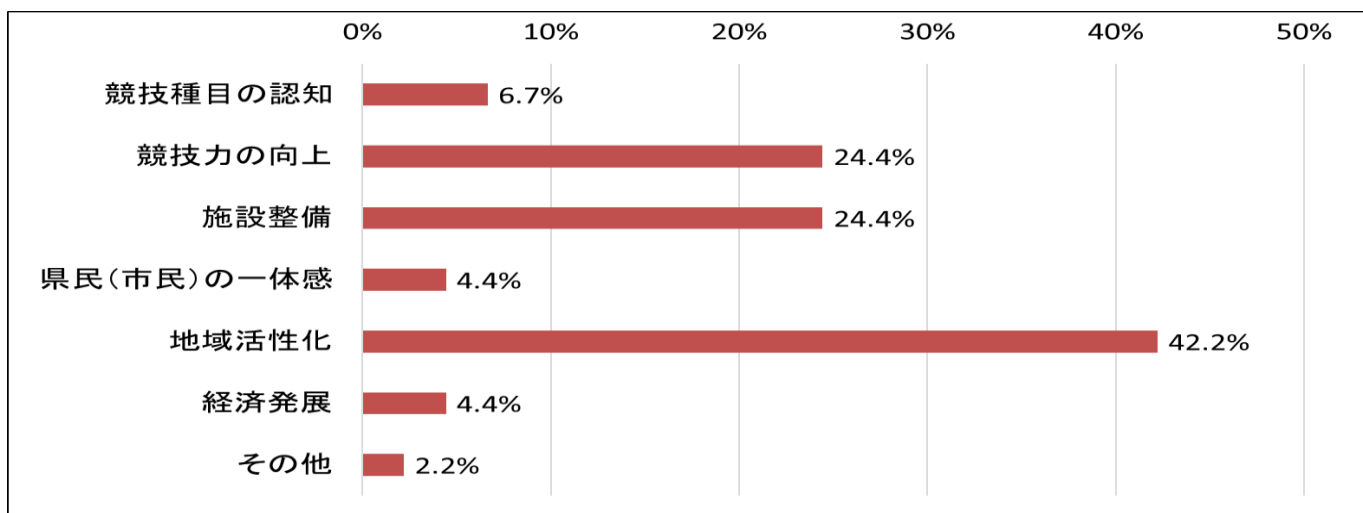
- ・友達がたくさんできて良い
- ・友達が沢山できて充実している。楽しくスポーツができて良い。責任感が持てるようになった。団員数に対してのコーチの少なさに困っている。
- ・我が団は保護者も練習に参加する機会が多く、家でも子どもと話をする機会が増え、親子の絆が深まったように思います。保護者の練習参加は、キャッチボールの相手や紅白戦の空いたポジションについたり、審判をしたりしていますが、スポーツ保険の保護者プランでは、練習補助や審判員は保険対象外で、軟式野球連盟では保護者を対象に審判講習会があり、保険と矛盾していますので保険内容の見直しの検討をしてほしい。
- ・指導者はほぼ無報酬に近い状態で土日を使って指導いただいている。大変ありがたいが、このまま続けることが将来的に良いことなのか疑問は持っている。
- ・少年野球は、市内にチーム数が多いため、遠方に行かなくても練習試合ができる（良い点）。困っているのは、雨天や冬季の練習が可能な場所があると良い。
- ・コロナ禍で屋内スポーツの大会がなかなか出来ない事。感染防止ガイドラインに沿ってもう少し大会を行ってほしい。屋外スポーツに比べて、やはり大会数が少ない（中止が多い）。観戦人数制限も厳しい。まずは選手のために、運営等の協力は積極的に行いますのでよろしく願いいたします。
- ・指導してくださる皆様には、公私共にお忙しい中、子どもたちの日々の指導をはじめ、試合の申込や引率等々に多くの時間を割いていただいていることに、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。また、コロナ禍にあっても子どもたちのモチベーション維持のためいろいろとご配慮くださっています。子どもたちが練習や試合で頑張る姿を見ることが出来たり、応援することが私たち親も楽しみとなっています。市にこういった活動がさせてもらえる施設があるのもありがたいです。いつもご支援ありがとうございます。
- ・（良い点）指導者の方のご指導により技術が上達し、試合の際には、一人一人が責任をもって参加している。たくさんの人との出会いがあり、良かったと感じている。
- ・（困っている点）日々の活動の場である練習の際には、団員内でのコミュニケーションがうまくいかず、保護者としてどのようなサポートをすればよいか気になっている。
- ・今、小学校の体育館で練習をしていますが、古くなってきているので新しくなってくれるといいなと思います。
- ・野球をする小学生がここ最近減少している様子があります。原因として考えられるのは、スポ少活動の中で、保護者に対する費用が高いことや、試合練習時に、お茶出しやその他課される労力が多いことだと思います。大会などに参加した時、他チームのベンチの様子をうかがうと、とあるチームの指導者の暴言や怒鳴り声がたまに聞こえる時があり、子どもたちも委縮しています。最近では、日本人メジャー選手のツイッターにも同様なことが言われていることもあり、少しでも子どもたちのために、我々大人たちが守ってあげたらと思います。また、野球人気が増えるように、行政側にも働きかけてもらえたらありがたいです。よろしく願いします。
- ・学校生活では体験できない厳しさ、苦しさに負けずに取り組むことで心身共に鍛えられている。スポ少でせっかく鍛えた心身が活かされる中学部活となっていない。
- ・良い点は、学年を問わず団員の仲が良い。あいさつをする。悪い点は、団員数の減少。
- ・他の県との交流、交通の不便
- ・団員の減少により、指導者からの手厚い指導が受けられている。一方、同年代の子どもと切磋琢磨する機会が減っている。他団体との交流の機会（合同練習会、多世代交流会、大会など）を設けてほしい。他の競技団体と一緒に地域活動を行って地域へ貢献するような機会も設けてほしい。
- ・先生方の指導のおかげで挨拶ができ、礼儀正しい人に近い行動がとれるようになりました。ただ、全体を見ると、まだまだ先生の言葉の意味が分からないみたいです。具体的に言えば、「大きい声を

出せ！」と怒られるまで声を出さない。簡単なようで本人たちには難しいみたいです。

- ・学校では学べないことも学べる。小学校のころから、スポーツを深く知り、技術を習得することができている。子どもなりに上下関係を学んでいる。スポーツ以外にも、あいさつ、礼儀、くつをそろえるなど、大切なことを学んでいる。
- ・子どもと親の交流が持てる。試合や練習試合が多くなると、家族のスケジュールが多忙となり、対応が難しくなる。子どもが自主的に練習する場所がない。指導者不足。
- ・新型コロナウイルス感染症対策では、通知文書等によりスムーズに対応することができました。
- ・礼儀、あいさつや広い視野を持つこと等、競技同様に人間力の養成につながる指導をしていただいている点に感謝しています。
- ・指導方法が昔のやり方
- ・上級生が下級生の面倒を見るようになるので良いと思う。

3. 令和12(2030)年開催予定の島根県国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会について

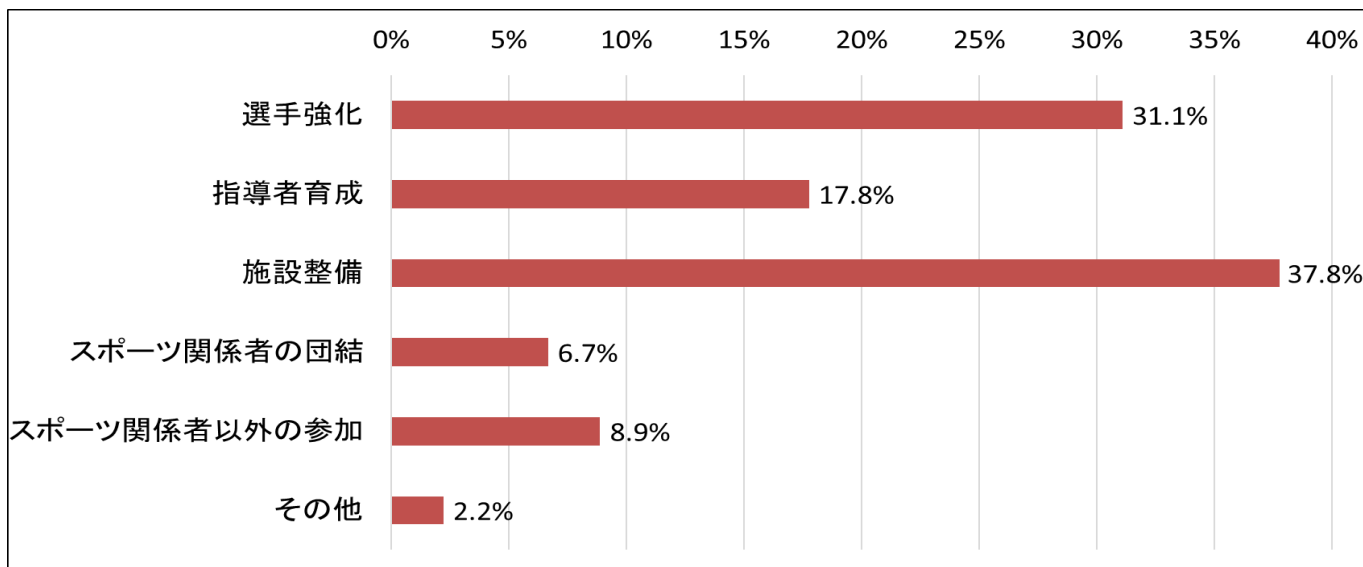
(1) 最も期待すること



(その他)

- ・国民全員が楽しめること。地区民体育祭の大型なので、プロとして主催は色々考えてほしいです。

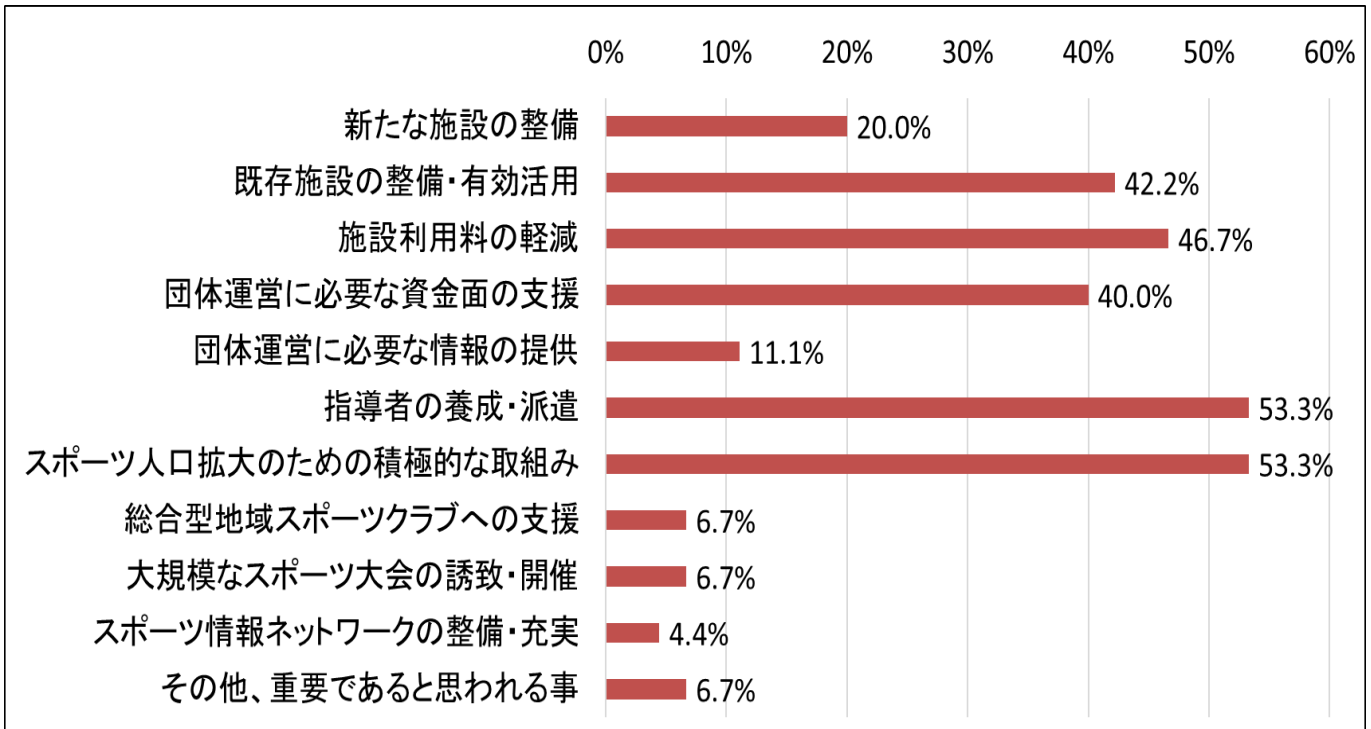
(2) 最も実施すべきこと



●地域活性化に期待する回答が約4割で、施設整備を実施すべきとする回答も約4割あり、選手強化が必要とする回答も約3割ありました。

4. スポーツの振興について

(1) スポーツ振興に重要なこと



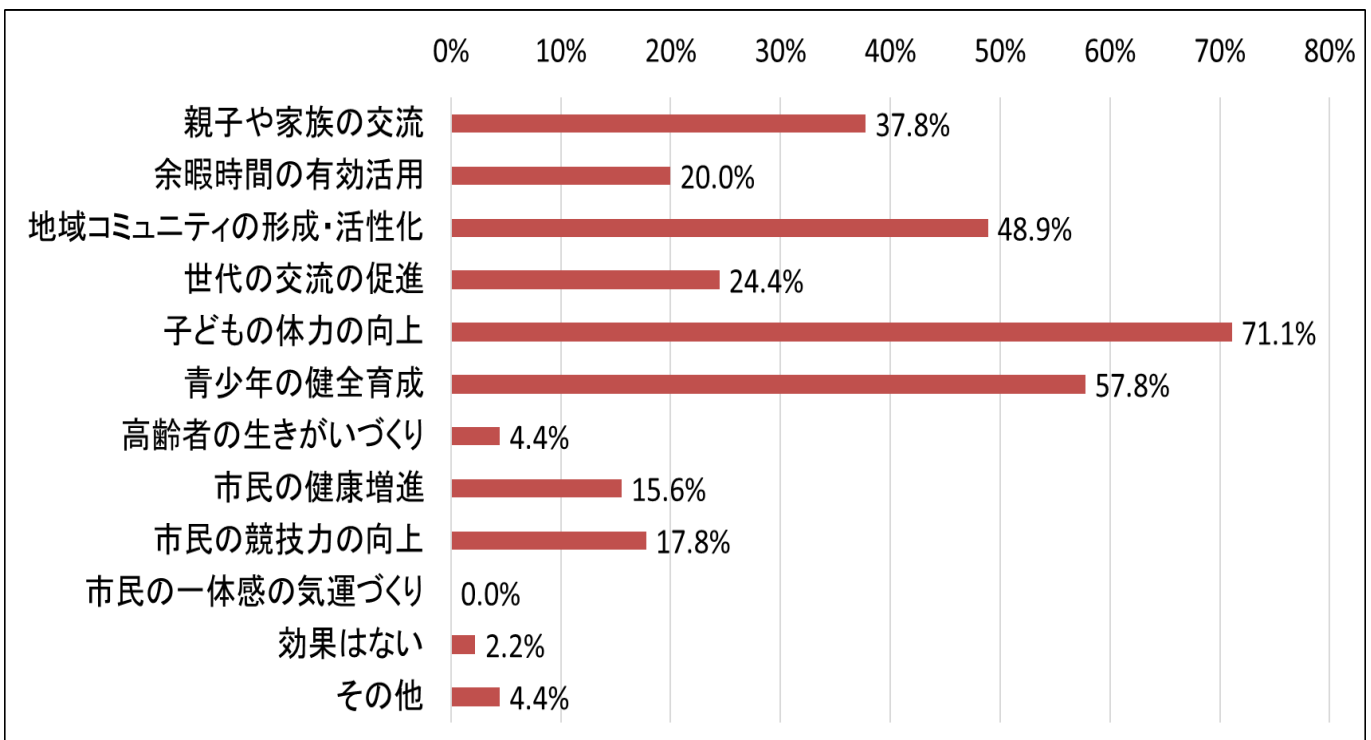
(新たな施設の整備)

- ・小学校グラウンドの芝生化・室内練習場の整備・キッズパーク的な施設・武道館・体育館（3）
- ・屋内スポーツのできる体育館をもっと充実させる。

(その他)

- ・中学、高校の部活動との連携、指導者同士の交流
- ・雨天時・冬季のみの出雲ドーム使用料の割引
- ・種目の例でいえば「ホッケー」出雲として推したい（ディオッサのような団体等）スポーツがあればグイグイ引っ張れば良いのでは？ただし、他のスポーツも忘れずに支援していただきたい。

(2) スポーツ振興による効果



(その他)

- ・競技人口の増加
- ・出雲のプロ団体が活躍すれば子どもたちの夢になります。子が夢中になれば、親は応援します。
- ・子どもの精神的な（気持ちの）成長
- スポーツ振興については、指導者の養成・派遣とスポーツ人口拡大が重要であるとの回答が5割を超えています。また、効果としては、子どもの体力向上とする回答が7割を超え、青少年の健全育成、地域コミュニティの形成・活性化とする回答が続きました。

5. スポーツ行政や少年団本部に対する意見・要望等

- ・浜山少年野球場のスコア操作のPCが、いまだにXPで、動作も悪いので直してほしい。ドーム少年野球場に、スコアボードとSBOを新調してほしい。
- ・子ども達は大会を楽しみに練習に取り組んでいます。コロナにより大会が開催されるか不安の中、学校行事と大会が重なり、出場できないというのは子どもも保護者も悔しい気持ちでいっぱいです。雨天で状況が変わることもあると思う。あくまで学校行事優先ですが、大会には参加させたい。（キャンセル料は妥当ではないと思う。）
- ・大会のみならず、普段の練習の補助もお願いしたい。
- ・子ども達が、各種競技やスポーツ少年団の活動に目が向くように情報発信してほしい。スポーツ少年団に限らず、小中高生が交流、一緒に活動するような場を設けてほしい。次世代育成。
- ・子どもが興味をもてば親としては子どもを応援します。子どもが楽しく活動できるように指導お願いいたします。
- ・今のコロナの状況でスポ少によって活動が大きく違っているが、実際どのように活動していけばよいのか困ることがあった。スポ少の中にはコロナで活動が少なくなり、スポ少をやめてしまう子どもも多くいたと聞きました。せっかく続けているスポーツも今の状況のせいでやめてしまうことは非常にもったいないと思います。スポーツが続けていける環境を整えてもらいたいです。小学校がコロナのため長期で体育館を使えない時もあり困りました。他の体育館を借りて活動しましたが、別に使用料もかかり、予約も殺到し、大変な思いをしました。

V. 学校部活動の現状について

配布対象：出雲市内全ての中学校 15校（全生徒数：4,791人）

配布時期：令和3年1月18日 回答期限：2月17日

回答団体：15校（回答率：100% 参考：前回100%）

1. 運動部活動の状況

	種目	年度	部活動が有る 学校数	1校当たりの平均部員数（人）					部員数 合計 （人）
				1年生	2年生	3年生	合計	前回比	
1	陸上競技	H17	9校	14.5	14.5	14.6	43.6	—	394
		H22	9校	17.4	16.2	16.2	49.8	6.2	449
		R2	13校	14.2	13.4	11.5	39.1	△10.7	508
2	野球	H17	13校	11.5	12.2	12.9	36.6	—	476
		H22	14校	10.7	9.9	11.2	31.8	△4.8	446
		R2	12校	8.6	9.7	6.4	24.7	△7.1	296
3	硬式テニス	H17	1校	1.0	0.0	0.0	1.0	—	1
		H22	—	—	—	—	△1.0	—	
		R2	1校	0.0	3.0	0.0	3.0	3.0	3.0
4	ソフトテニス	H17	6校	16.5	16.2	16.8	49.5	—	297
		H22	7校	15.8	19.0	14.9	49.7	0.2	348
		R2	9校	19.9	20.2	10.9	51.0	1.3	459
5	サッカー	H17	6校	20.0	14.8	19.5	54.3	—	326
		H22	5校	14.8	18.6	20.4	53.8	△0.5	269
		R2	8校	15.1	12.3	13.0	40.4	△13.4	323
6	水泳	H17	5校	4.6	6.4	6.6	17.6	—	88
		H22	4校	7.0	9.0	10.8	26.8	9.2	107
		R2	4校	10.3	11.3	5.8	27.3	0.5	109
7	バレーボール	H17	13校	7.5	8.3	7.1	22.9	—	298
		H22	13校	7.2	6.3	8.0	21.5	△1.4	279
		R2	14校	6.9	9.6	5.6	22.1	0.6	309
8	バスケットボール	H17	6校	13.5	12.0	8.0	33.5	—	201
		H22	5校	18.0	11.4	9.6	39.0	5.5	195
		R2	8校	9.9	13.5	6.6	30.0	△9.0	240
9	卓球	H17	7校	12.6	8.8	12.5	33.9	—	237
		H22	9校	9.0	11.5	9.1	29.6	△4.3	266
		R2	9校	13.6	12.9	12.7	39.1	9.5	352
10	剣道	H17	9校	7.4	7.9	7.2	22.5	—	203
		H22	9校	5.9	5.8	7.1	18.8	△3.7	169
		R2	9校	7.1	6.4	7.3	20.9	2.1	188

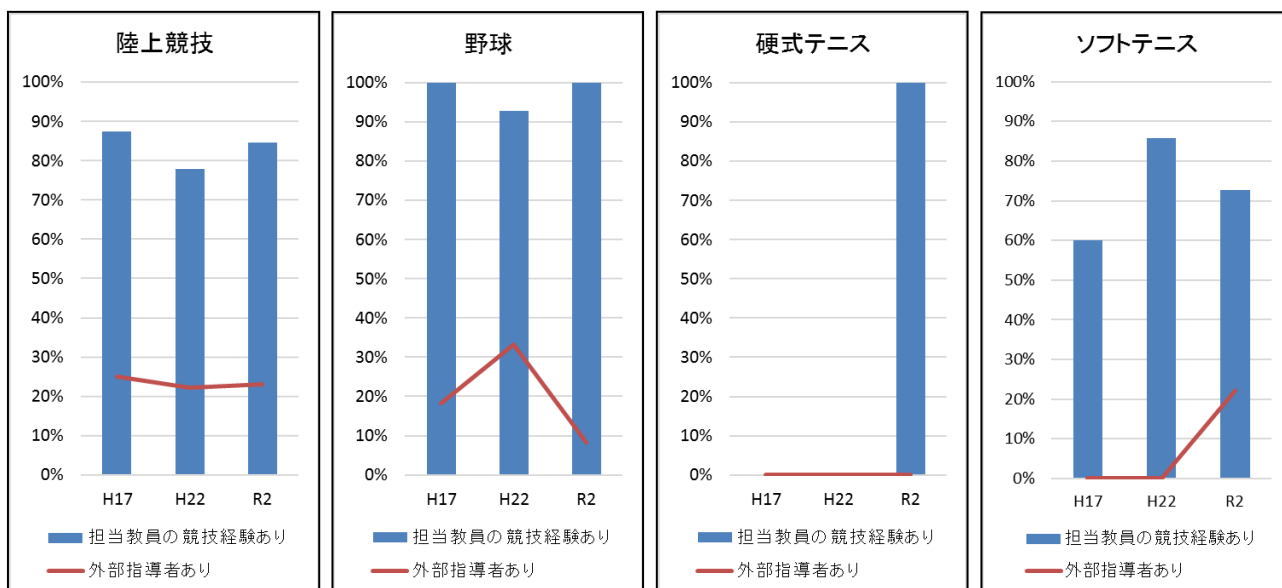
11	柔道	H17	3校	5.6	10.0	14.3	29.9	—	90
		H22	3校	6.7	7.0	7.8	21.3	△8.6	64
		R2	3校	2.7	4.3	4.7	11.7	△9.6	35
12	なぎなた	H17	1校	0.0	2.0	1.0	3.0	—	3
		H22	—	—	—	—	—	△3.0	—
		R2	1校	0.0	3.0	3.0	6.0	6.0	6
13	体操	H17	5校	3.6	5.4	3.2	12.2	—	61
		H22	5校	2.8	3.8	4.8	11.4	△0.8	57
		R2	3校	3.7	4.0	3.3	11.0	△0.4	33
14	新体操	H17	2校	9.0	8.5	2.5	20.0	—	40
		H22	1校	4.0	11.0	6.0	21.0	1.0	21
		R2	—	—	—	—	—	△21.0	—
15	ソフトボール	H17	1校	7.0	5.0	7.0	19.0	—	19
		H22	1校	5.0	4.0	5.0	14.0	△5.0	14
		R2	—	—	—	—	—	△14.0	—

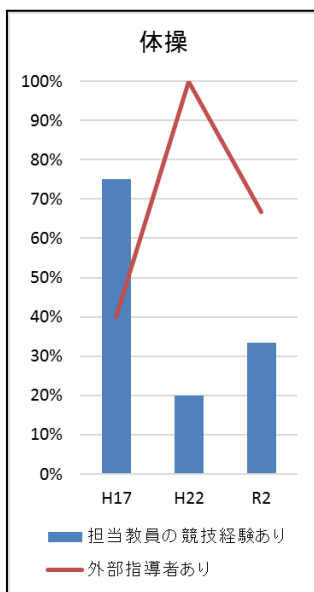
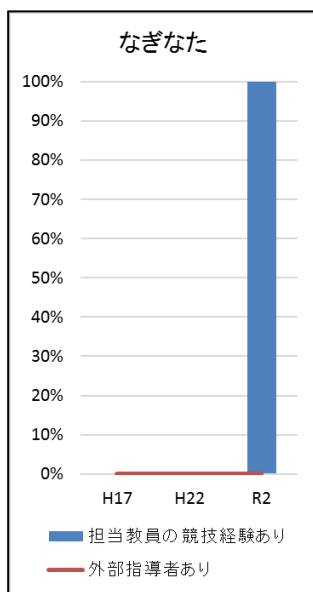
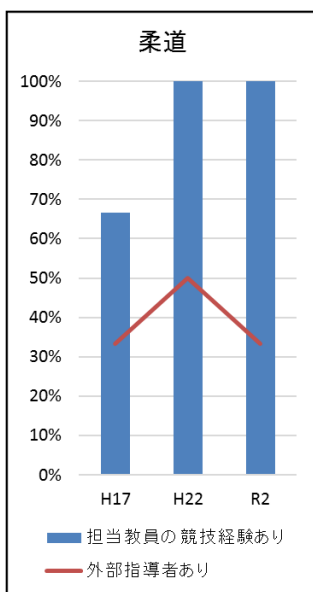
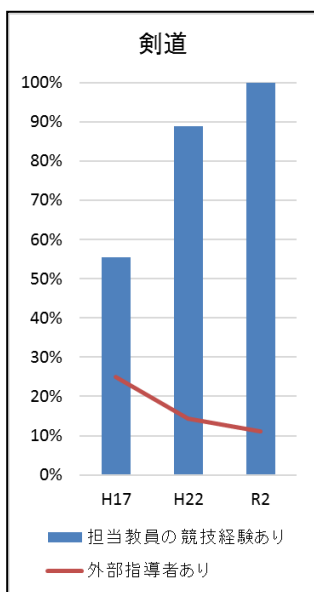
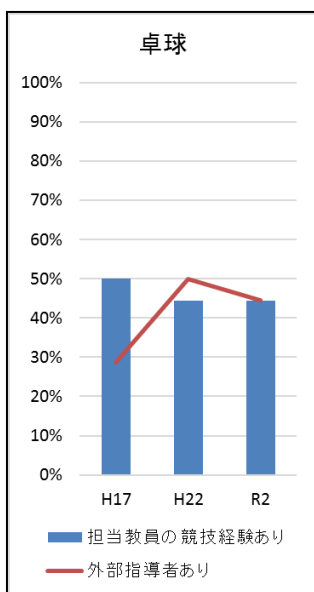
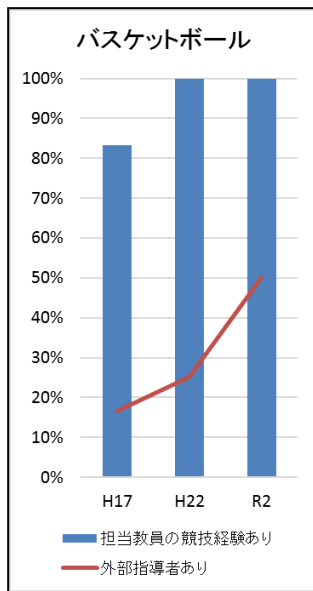
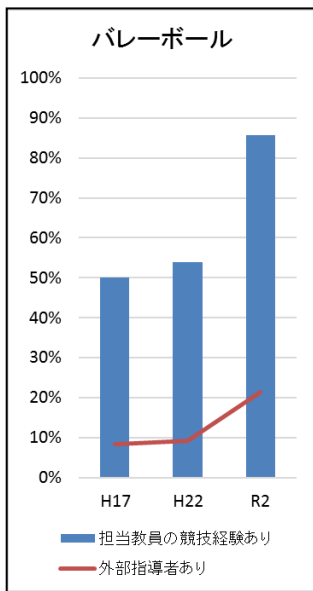
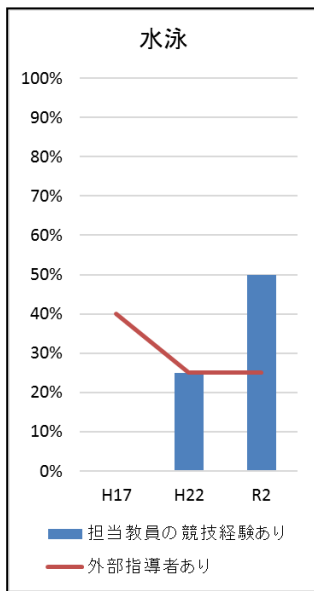
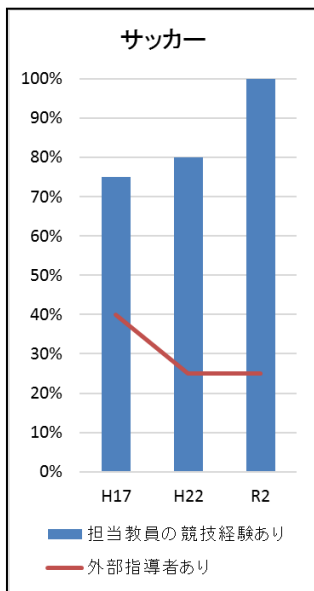
種目数		令和2年度 (15校)	平成22年度 (14校)	平成17年度 (14校)
	合計	13種目	13種目	15種目
	1校当たり平均	6種目	6種目	6種目

加入者数		令和2年度 (15校)	平成22年度 (14校)	平成17年度 (14校)
	合計	2,861人	2,684人	2,734人
	1校当たり平均	190.7人	191.7人	195.3人
	(加入率)	(59.7%)	(63.0%)	(59.8%)

●1校平均の部活種目数は前回同様ですが、部活動の加入率が減少しています。

2. 部活動の指導者について



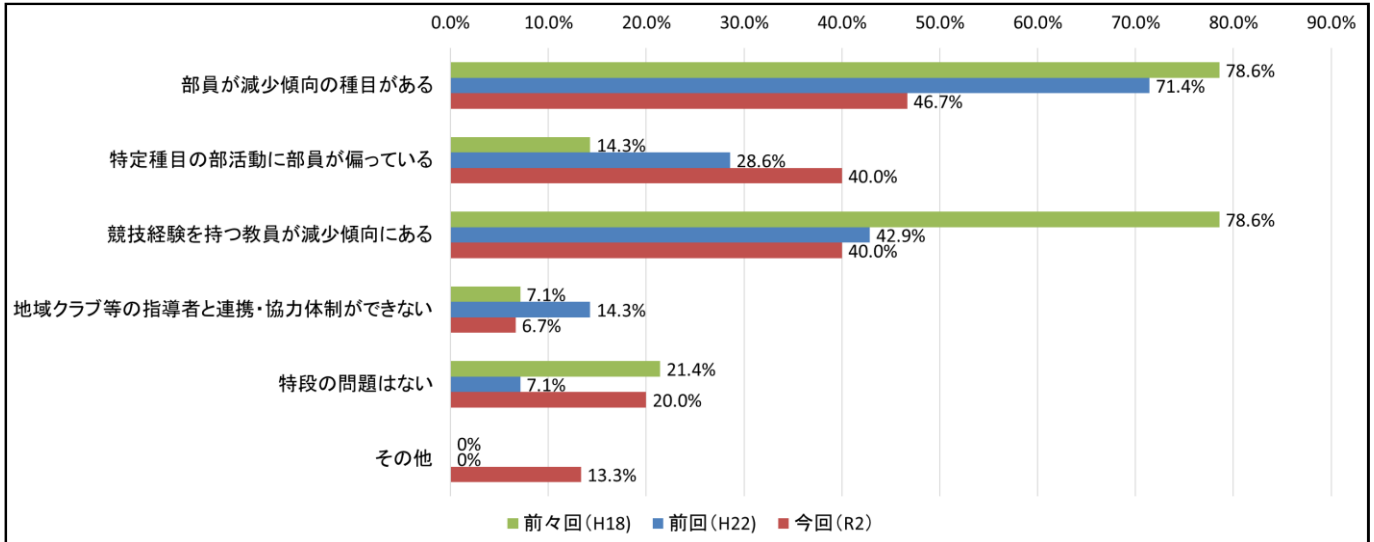


●多くの種目で競技経験のある担当教員の比率が増加していますが、外部指導者の比率はまちまちです。

3. 主な練習場所（学校以外の施設）

種 目	練習場所
陸上	浜山公園陸上競技場
サッカー	長浜中央公園
バスケ（男子）	古志スポーツセンター
水泳	出雲ゆうプラザ（11月～5月のみ）

4. 部活動運営における問題点と課題



（その他）

- ・ 荒天時に、施設内で活動できる場所が足りない
- ・ 生徒数 277 名に対して部活動数が多く、顧問の配置が難しい。

●令和 2 年度は、部員の減少、特定種目の部活動への部員の偏り、競技経験を持つ教員の減少を課題にあげる回答が多くみられました。

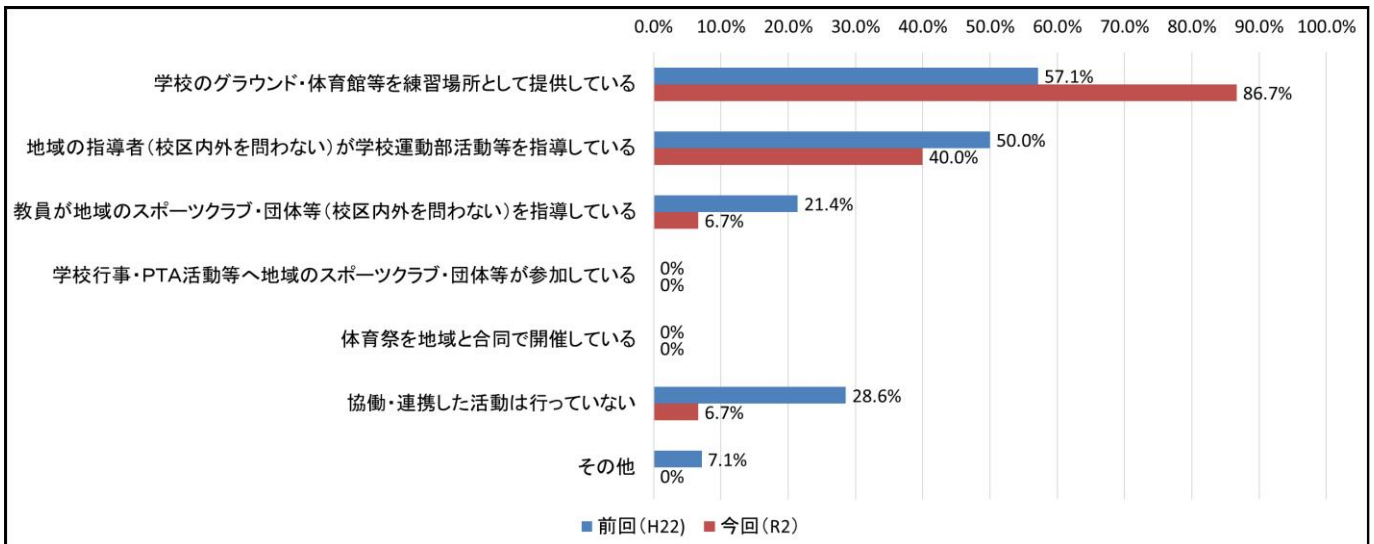
5. 生徒からの新種目の部活動設置の要望について

1. 要望が有り、新設した	0 校
2. 要望が有るが、新設していない	2 校
3. 要望が無い	13 校

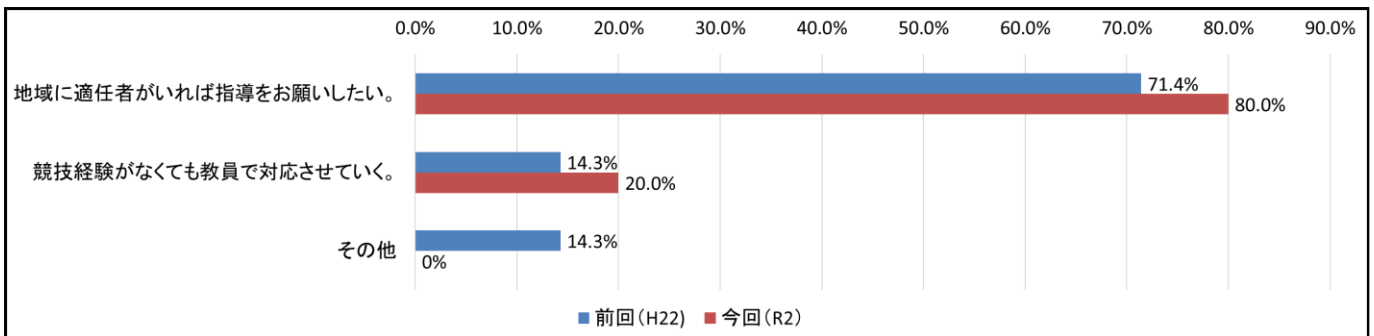
要望が有る種目	新設していない理由
バスケ（男子）	活動場所の割り振りが困難のため、年によって継続的に活動ができないと判断しているため。
バレーボール（男子）	担当教員がいない、継続の見込みがない。

6. 地域で行われているスポーツ活動との連携・協働について

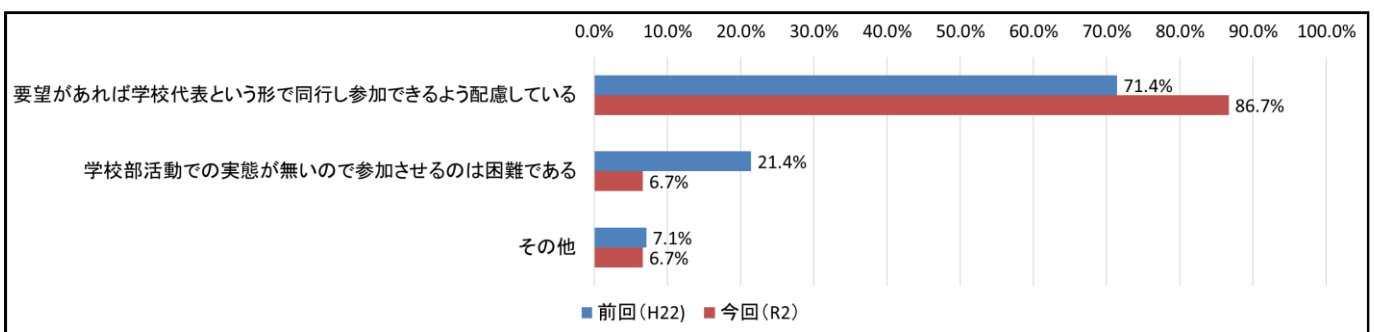
(1) 地域活動と協働・連携した活動を行っているか（複数回答可）



(2) 学校部活動における地域の人材活用について



(3) 地域クラブで活動する生徒の中体連主催大会への教員の顧問としての同行について



(その他)

- ・ 準部扱い＝バドミントン

日頃は社会体育として活動し、一応、顧問を配置している。中体連関係の大会のみ引率している。

- 学校施設を地域活動の練習場所として提供している学校が多くみられました。また、部活動においては、地域の適任者への指導希望、教員での対応ともに増加しており、中体連主催大会への教員の顧問としての動向も増加しています。

7. 障がい者のスポーツ活動の推進について

(1) 障がい者のスポーツ活動推進に向けた取組について

1. 行っている	0校
2. 行っていない	15校

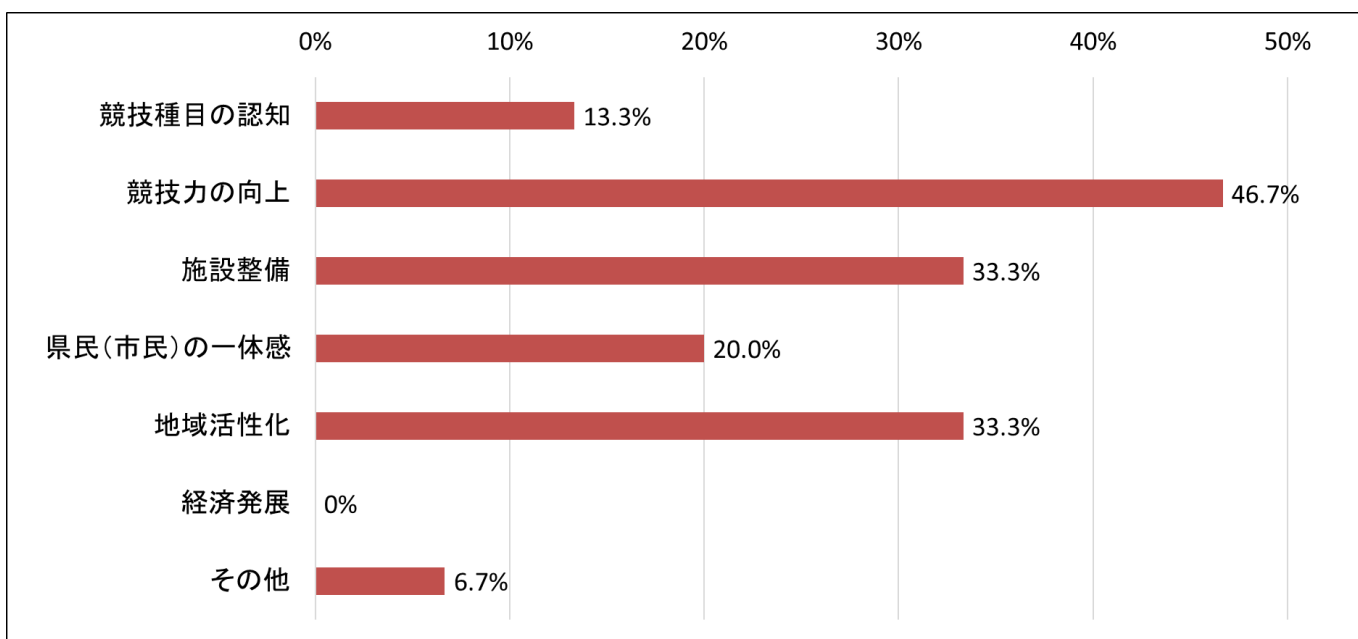
(2) 障がい者のスポーツ活動について相談できる場所

1. ある	2校	13.3%	・島根県立盲学校・スポーツ庁健康スポーツ課障害者スポーツ振興室・公益財団法人日本障がい者スポーツ協会・日本パラリンピック委員会
2. ない	13校	86.7%	

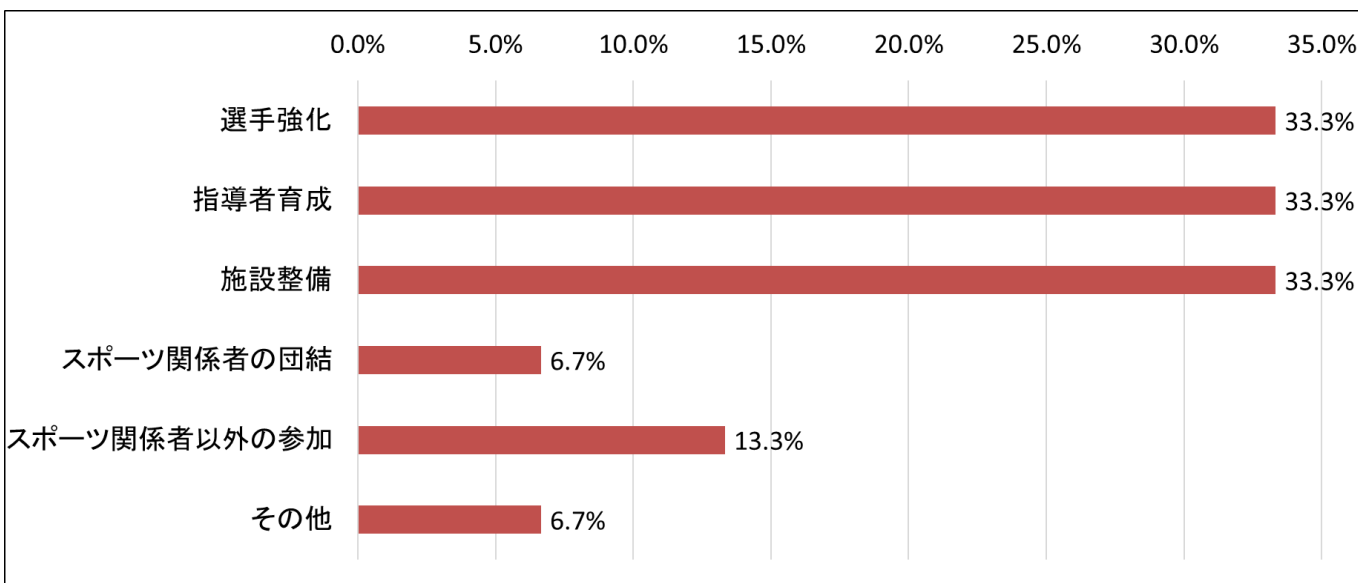
●取組を行っている学校は0校でしたが、相談先がある学校が2校ありました。

8. 令和12(2030)年開催予定の島根県国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会について

(1) 最も期待すること



(2) 最も実施すべきこと



(その他)

・競技力向上が地域の活性化につながるような組織づくり

●競技力向上を期待し、選手強化、指導者育成や施設整備が重要とする回答が多くありました。

9. 今後の学校部活動の運営のあり方についての意見・要望等

- ・それぞれの学校でこの「部活動のあり方」について、何かと話題にあがっていると思う。「働き方改革」と言われるようになってから、「部活動がブラックである」と決めつけられているように個人的には感じている。中高生にとって、部活動は青春であり、重要な時間であると考えています。ただ、経験したことのない種目の担当になるほど苦痛なものはないとも感じています。一口に良い悪いとは言えない問題である。熱心な指導者ほど、肩身の狭い思いを段々しているかもしれない。学校現場には必ず2通りの考えに分かれると思う。地域の指導者との連携も、今後はどんどん必要になってくると考える。
- ・休日のみ地域人材・団体が担うこと自体が難しいと思う。仮にそういう体制でやったとしても、平日を担う学校の担当者と、休日の担当者と連携の面で、学校担当者は打合せ等かえって多忙感を感じるなど、働き方改革の面でもマイナスになるような気がする。
- ・各競技団体での中学生の受け皿を確立させること。休日に実施される大会への引率はどうするのか。中体連主催大会への参加はどうなるのか等、部活動と社会体育との兼ね合いがどうなっていくのか不安がある。
- ・学校単位でなく、地域ごとのスポーツ団体が参加可能な大会の創設と地域ごとのスポーツ団体が活動しやすい環境づくり。中体連の大会の根本的な改革（全国大会をなくしたりブロック大会や県大会などの見直し）
- ・学校では、各部活動保護者会代表の方に部活動指導員・地域指導者等の募集に関する説明会を実施し、地域へ移行する考え方をお伝えしている。市でも啓発活動募集を行っていただきたい。

●地域との連携が必要と考える意見もある一方で、地域との連携に係る事務負担や実際の運用について不安感を抱く声もあり、国の部活動改革の考え方も踏まえ、地域での受け皿体制の強化など検討する必要があると思われます。

10. 市のスポーツ行政に対する意見・要望等

- ・市や県の施設利用については、無料化に近い利用料にしてほしい。
- ・部活動で必要な移動費（交通費）を縮小するために市バス（教育バス）を増やしてほしい。
- ・用具を運ぶためにも公用車を学校規模に応じて増やしてほしい。（部が多いと重なる。）
- ・安全面への配慮も含めて、学校施設の整備を早急に行ってほしい。特に本校では、体育館・武道場の整備などを早く進めてほしい。
- ・家庭の実態も多様化し、小学校での課外活動（部活）もなくなり、明らかに二極化が進んでいる！ここ近年、スポ少の影響・体力低下・経済面を要因として、スポーツ部活動への入部率が低下していくことが予想される。
- ・小規模校では、部員確保が年々たいへんである。いつかは合同チームを考えなければならないと思う。
- ・今一度、学校教育における部活動のあり方、位置づけといったものを出雲市なりに定義されてはどうか。また、出雲市ならではの種目を設け、重点施策を図られるのも良いと思う。また、底辺の拡大、一貫した指導、活動場所（使用料含め）確保なども大きな問題である。